

共通テスト本試験2025 解説

第1問 歴史総合。テーマは「歴史上における境界」

- 問1 あ・い：下線部㉔「主権国家からなる国際秩序」は歴史総合の大きなテーマ。日本史的には難しいが、資料やパネルから「中国王朝を中心とする世界観」つまり朝貢や冊封(あ)とは異なるものであることは読み取れるから、消去法でいを選べる。a・b：杭州(a)が正解。日本史的には難しいが、これも2択であり、他方のcが上海であること、上海の開港はアヘン戦争の結果で天保の改革の時期(19世紀)であることは分かるから、消去法でaを選べる。
- 問2 ②清仏戦争が時期的に合致する。日本史的には難しいが、「一昨年に台湾出兵」とあるから1870年代だと分かれば、①(下関条約)は時期が違ふし、③の内地雑居は条約改正前なので誤文、「事件」が江華島事件→日朝修好条規→不平等条約なので④も誤文と判断できて、消去法で導ける。
- 問3 ア：「穀物法」からイギリスと特定できる。日本史的には難しいが、1851年という時期から世界貿易において影響力を持っていたのはスペインではなくイギリスだろうと推定は可能。イ：検疫に反対しているのだから、「水際で阻止する」ではない。
- 問4 「第一次世界大戦集結から第二次世界大戦勃発まで」という時期から、①この時期なら国際連盟に入っていることが明らか。日英同盟を想起しても良い。②イスラエル建国は第二次大戦後。③盧溝橋→柳条湖。
- 問5 ミシシッピ号の寄港は下田より長崎が前だが、コレラの発生順は九州→江戸→静岡→大阪→三重→山口となっているので、下田からの伝播が先立ったこと、京都は関西の起点ではないか分かる。
- 問6 ①グラフと一致しており正文。②～④は、世界恐慌・ベトナム戦争・冷戦終結の時期を考えると、③のみがグラフと一致していない。
- 問7 Iはプラハの春で1960年代、IIは1970年代、IIIのキューバ革命は1950年代で、III→I→II。これは、日本史からの連想や資料読解、消去法などでは解答できない問題だった。
- 問8 調査のための適切な方法を探す新課程独特の問題。あ：ベルリンの壁の崩壊→Wのドイツ関税同盟は日本史的に難しいが、時期的にXの東西ドイツの方を選ばばよい。あ：明治政府→時期的にYの第一次大戦ではなくZのお雇い外国人を選ばばよい。

第2問 時代複合のテーマ史。旧課程の第1問にあたる。1つの設問に複数の時代の選択肢を並べた問題は少なかった。テーマは「お菓子」。

- 問1 あ・い：会話の中に工藤平助や蝦夷地開発が出てくるので、資料1を受け取ったのは田沼意次と分かる。あは印旛沼工事で適合するが、いは株仲間解散で天保改革である。う：「総輸入量二百五十万斤の内」「百万斤は日本中での入用」なので誤文。え：「下賤の者が異国の物を…あってはならない」とあるので正文。
- 問2 あ：資料2には年代は記されていないが、下線部㉔により大正時代であること、「欧州製菓の輸入途絶」という事情などから第一次大戦と推測でき、正文。い：「事務家、読書家、運動家」とあって、子どもだけが対象でないことが分かる。
- 問3 下線部㉔「平安時代」なので、②(書院造)は当てはまらない。
- 問4 下線部㉔「中世の禅宗寺院」で④が正文。①唐人屋敷は江戸時代。②大輪田泊は平氏政権であり、禅宗はまだ伝わっていない。③奈良時代の鑑真の説明。
- 問5 ①マナが「奈良時代には…甘味料ではなく薬として扱われていた」と言っている。②カステラは南蛮文化。③正文。④物資不足だから切符制なので誤文。

第3問 古代史で、テーマは「外交と文化の関わり」。

- 問1 ④新羅は古墳時代なので誤文。※考古ではないが原始が出たのは少し驚いた。
- 問2 ①日本は冊封は受けていない(対等外交)。②日本は新羅や渤海に朝貢を求めていたが、これは少し判定が難しい。③正文。④新羅や渤海との交渉は9世紀も行われている。
- 問3 下線部㉔も加味すると高句麗も「高麗」と呼ばれたことが分かる。これに該当するのは資料3・4の「高麗」である(「煬帝」「百濟」と同時代)。また、そもそも10世紀以降の「高麗」もあり、これに該当するのは資料1(「宋」と併置されている)である。残った資料2が渤海である(聖武天皇と同時代)。
- 問4 去年まではXY正誤だった形式。そして正解が①なので受験生が悩むケース。あ:桓武朝の健児の制による軍団廃止。ただし九州と東北は廃止していない。この判定が難しい。い:刀伊の入寇で正文。
- 問5 メモはどちらも平安中期文化(いわゆる国風文化)の説明であるが、サクラの図は螺鈿紫檀五弦琵琶で天平文化なので時期が違う。タケシの図は高野山聖衆來迎図で時期は合う。

第4問 中世史で、テーマは「中世の武士」。

- 問1 下線部㉖は「鎌倉時代の御家人」であり、③の半済は室町時代なので誤文。
- 問2 あ・い:博多湾岸に防塁が出来たのは文永の役なので い が正文。X:資料2によれば、下地中分されても「異国警固」は「等分の沙汰」とあり、負担を免除されていないので誤文。Y:翔太の発言には、資料2が1324年とあり、2回めの襲来より後なので正文である。
- 問3 ア:吉田兼俱→唯一神道を選ぶ。伊勢神道は鎌倉時代の度会家行。イ:大内の城下町山口はザビエルも訪れており、魔法=キリスト教と推定できる。黄檗宗は江戸時代初期の渡来なので時期が合わない。
- 問4 「統一権力がみずから貨幣を鑄造」の前提を考えると、②の「錢の通用の混乱(撰錢)を正す」ことが最も合致する。①戦国大名は藩札を発行していない。③貫高制は秀吉以降は石高制に変えられており、統一権力による政策の前提ではない。④銀の流出は貨幣鑄造を難しくするので「前提」とは言えない。
- 問5 ①平氏政権は日宋貿易を促進したが、勘合は用いていない。②鎌倉幕府の御成敗式目は律令を否定していないことは、執権北条泰時から重時への書状を思い出そう。③地縁と血縁が逆である。

第5問 近世史で、テーマは「近世の村」。

- 問1 あ・い:下線部㉗は太閤検地。度量衡の統一がなされたので あ は誤文、一地一作人原則から い が正文となる。X:刀狩を経て武装解除がなされているから誤文。Y:小物成の説明で正文。
- 問2 ①罰金の額に差があるので誤文。②処罰を領主が行うという規定は資料に見えないので誤文。③正文。五人組の記載がある。④多くの法令が出されているので誤文。それが想起できなくても、資料から③が正文であることは明確なので選べる。
- 問3 Iは天保改革(人返し令)または寛政改革(旧里農令)。IIは享保改革。IIIは(田畑永代売買禁令と分地制限令)将軍が家光・家綱。III→II→I
- 問4 あ:年代と上野という場所から浅間山が想起できれば良い。い:メモ3の後半に「天明3年以降、荒地は年貢賦課の対象外」とあるので誤文。う・え:メモ3の後半に「荒れ地になったまま」とあり え が正文。
- 問5 ①村政は本百姓が担った。②被災した村民が近隣に移住している。③年貢率の固定=定免法だが、18世紀の享保改革以降である。グラフを見ても、1665→85年には生産高は大きく伸びているが年貢高は横ばいで税率が固定できていない。④正文。

第6問 近現代史で、テーマは「松本清張」。

問1 あ：メモや資料1から価値が下落したことは推測できる。い：資料1の最後に「総督府」とあるが、1895年の記事なので、これは台湾総督府を指す。X：正文。西南戦争にそなえて農民一揆を懐柔するため税率を下げた。Y：学制の松方財政の説明で時期が合わない。

問2 ①・②ともに資料2と合致する。松本清張の年譜から彼が朝鮮にいたのは1944年と分かり、③の皇民化政策が合致する。④は朝鮮の明治の植民地化当初の情勢であるから、誤文。

問3 Iは手塚やアニメだから戦後。IIは戦時時期。IIIは大衆文化。III→II→I

問4 ①は2・1ゼネスト計画、②は昭和電工事件、③もあわせて占領下である。④は独立後で誤文。いずれも文の内容には問題なく、時期判断の問題だった。

問5 第1問の問8と同じ、調査のための適切な方法を探す新課程独特の問題。

W・X：政党ごとの投票数の男女比よりも、投票率の変化の方が、女性の政治参加の進み方を判断するには適切である。Y：規制緩和・構造改革は小泉内閣の施策であるから、時期が合わない。Z：なぜ意地悪ばあさんが松本清張と石川達三を間違えたのかが、このマンガだけでは分からず、なぜ松本清張の社会的評価がそのヒントになるのかも実は全く分からないのだが、Yが誤文であることから正解は導ける。

例年通り、時間を要する史料思考問題が多い。また戦後史が約12%あった。

歴史総合の問7のような難問がある一方で、XY型の正誤問題は2問、時代順が3問と少なめである。

平均は昨年なみの56点と予想します。

歴史総合，日本史探究（100点満点）

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点		
第1問 (25)	A	1	1	3	第4問 (15)	A	1	19	3	3	
		2	2	2			3	2	20	4	3
	B	3	3	2		3	B	3	21	1	3
		4	4	4		3		4	22	2	3
		5	5	1		3		5	23	4	3
	C	6	6	3	3	第5問 (15)	A	1	24	4	3
		7	7	5	3			2	25	3	3
		8	8	4	4		B	3	26	6	3
第2問 (15)	A	1	9	2	3			4	27	2	3
		2	10	1	3			5	28	3	3
B	3	11	2	3	第6問 (15)	1	29	1	3		
	4	12	4	3		2	30	4	3		
	5	13	3	3		3	31	6	3		
第3問 (15)	1	14	4	3		4	32	4	3		
	2	15	3	3		5	33	2	3		
	3	16	2	3							
	4	17	1	3							
	5	18	4	3							